

# 平成27年度 事業報告書

平成28年6月

地方独立行政法人長崎市立病院機構

# 目 次

## I 法人の概要

1	名称	1
2	所在地	1
3	設立年月日	1
4	設立目的	1
5	役員の状況	1
6	職員数	1
7	組織図	1
8	設置及び運営を行う病院等	2
9	新市立病院（全面開院時）の概要	3
10	理念等	4

## II 事業報告

1	法人の総括・重点施策・課題	5
2	年度計画における大項目ごとの概要	6
3	目標値の達成状況	9

# I 法人の概要

## 1 名称

地方独立行政法人長崎市立病院機構

## 2 所在地

長崎市新地町6番39号

## 3 設立年月日

平成24年4月1日

## 4 設立目的

長崎市における医療の提供、医療に関する研究、技術者の研修等の業務を行うことにより、市民の立場に立った質の高い医療を安全かつ安定的に提供し、もって市民の生命及び健康を守ることを目的とする。

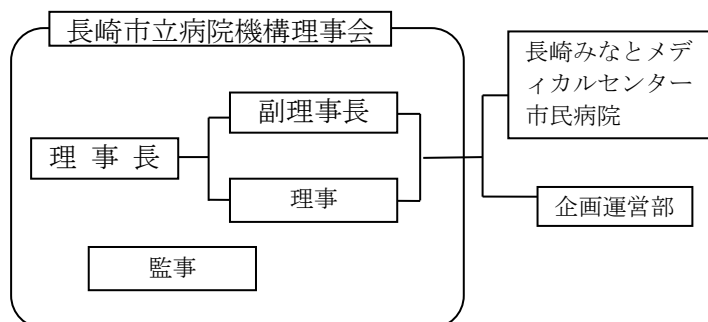
## 5 役員状況

(平成28年4月1日現在 五十音順、敬称略)

役員	氏名	備考
理事長	兼松 隆之	・地方独立行政法人長崎市立病院機構理事長 兼 長崎みなとメディカルセンター 市民病院院長
副理事長	杉町 圭蔵	・九州大学名誉教授 ・遠賀中間医師会病院 統括院長
	松本 晃	・カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO ・特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会理事長
理事	勝野 久美子	・社会医療法人春回会法人統括看護部長兼長崎北病院 看護部長
	黒川 智夫	・地方独立行政法人長崎市立病院機構 常勤理事
	千葉 憲哉	・医療法人祥仁会 西諫早病院理事長
	船橋 佐知子	・長崎県労働委員会 委員 ・九州教具株式会社 代表取締役副社長
	ブライアン・バーガ フニ	・長崎総合科学大学 環境・建築学部人間環境学科 教授
	森崎 正幸	・長崎県医師会 副会長 ・医療法人宝マタニティクリニック 院長
監事	川崎 清廣	・川崎清廣税理士事務所所長
	白石 裕一	・元長崎市上下水道事業管理者

## 6 職員数 (平成28年4月1日現在)

区分	職員数
長崎みなとメディカルセンター 市民病院	1,038人



## 7 組織図

右図のとおり

## 8 設置及び運営を行う病院等

(平成28年4月1日現在)

	長崎みなとメディカルセンター 市民病院
所在地	長崎市新地町6番39号
開設年月日	昭和23年12月1日
院長	兼松 隆之
許可病床数	513床
一般病床	494床 (稼働394床)
結核病床	13床
感染症病床	6床
主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次救急医療輪番制病院</li> <li>・地域周産期母子医療センター</li> <li>・地域医療支援病院</li> <li>・地域がん診療連携拠点病院</li> <li>・災害拠点病院 (地域災害医療センター)</li> <li>・臨床研修指定病院 (医師臨床研修センター)</li> <li>・第二種感染症指定医療機関 (6床)</li> <li>・結核病床 (13床)</li> </ul>
診療科目	<p>34科目</p> <p>内科、呼吸器内科、心臓血管内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病代謝内科、脳神経内科、血液内科、心療内科、精神科、緩和ケア外科、産科・婦人科、新生児小児科、小児科、小児外科、外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、臨床腫瘍科、病理診断科、救急科</p>
敷地面積	11,018m <sup>2</sup>
建物規模	<p>I期棟 鉄筋コンクリート造 (免震構造) 地上8階地下2階</p> <p>II期棟 鉄筋コンクリート造 (免震構造) 地上4階地下1階</p> <p>マニホール棟</p> <p>建築面積 6,313.23m<sup>2</sup></p> <p>延床面積 39,575.13m<sup>2</sup></p>

## 9 新市立病院(全面開院時)の概要

### (1) 新市立病院が担う主要な機能(担う領域)

- 救急医療（ER型救命救急センターの設置、ヘリポートの整備）
- 高度・急性期医療（脳血管疾患医療、心疾患医療、がん医療）
- 小児・周産期医療
- 政策医療（災害医療、結核医療、感染症医療）

### (2) 施設概要

項目	新市立病院 (全面開院後)	長崎みなとメディカル センター 市民病院 (平成28年4月1日現在)	長崎みなとメディカル センター 成人病センター
病床数	513床	413床	84床
敷地面積	11,018 m <sup>2</sup>	11,018 m <sup>2</sup>	12,359 m <sup>2</sup>
病院延べ床面積 (病院機能部分面積)	40,600 m <sup>2</sup> (38,700 m <sup>2</sup> )	31,855 m <sup>2</sup>	10,341 m <sup>2</sup>
駐車台数 (延べ床面積)	335台 (9,915 m <sup>2</sup> )	8台 他に敷地外に賃貸	60台
年間延べ入院患者数 (一般病床利用率)	160,000人 (86.0%)	120,492人 (90.4%)	12,225人 (69.6%)
年間延べ外来患者数	200,000人	128,024人	25,825人

※ 市民病院・成人病センターの患者数は、平成27年度の実績

※ 市民病院の一般病床利用率は364床で算出

※ 成人病センターの一般病床利用率は48床で算出

※ 成人病センターは平成28年3月27日閉院

### (3) 整備・運営スケジュール

項目	期日
設計着手(基本設計5ヶ月、実施設計9ヶ月)	平成23年1月
「I期工事の建物」の建設工事着手	平成24年2月
「I期工事の建物」の引渡し、維持管理業務開始	平成26年1月
「I期工事建物」の開院	平成26年2月24日
市民病院建物の解体工事着手	平成26年2月
「II期工事の建物」、「駐車場棟」の建設工事着手	平成26年8月
「II期工事の建物」の引渡し	平成28年2月
全面開院	平成28年7月予定
駐車場完成	平成29年3月予定
維持管理業務(保守管理・清掃・保安・利便施設運営)期間終了	平成43年3月末

## 10 理念等

### 【長崎市立病院機構】

<b>われらが思い</b>	患者さんとそのご家族から、職員とその家族から、そして地域から信頼され、愛される病院となります。
<b>目標にむかって</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 思いやりの心もち、安全で質の高い医療を提供します。</li><li>2. 地域に根ざすとともに、国際的視野をもった病院になります。</li><li>3. 人間性豊かな医療人を育成し、医療の発展に貢献する研究を行います。</li><li>4. みずから考え、やりがい、喜び、誇りをもてる環境を創ります。</li></ol>

## Ⅱ 事業報告

### 1 法人の総括・重点施策・課題

平成 24 年 4 月 1 日、長崎市の組織から独立し、地方独立行政法人長崎市立病院機構を設置した。移行初年度である平成 24 年度は、理事会の設置や人員体制の整備など法人の基礎となる運営体制の確立、新病院建設計画を着実に進め、平成 25 年度はⅠ期棟開院に向け、医療機能強化を図るとともに、新市立病院の機能・魅力を市民、地域の医療機関へ広く知ってもらうための活動にも力を入れた。そして、平成 26 年 2 月に無事に移転を行い開院し、平成 27 年度はⅡ期棟の完成と成人病センターとの統合で更なる診療機能の充実、病院機能の拡充を図った。

救急医療については、救命救急センターを設置することは体勢が十分に整わなかったことから達成できなかった。しかし、救急専門医による研修医教育や救急スタッフの育成に注力したことや、行政及び地域医療機関などと救急の現状についての共有を図ったり、海上保安庁と協同し、海難事故を想定した救難ヘリ訓練を行うなど“連携体制”を強化した。平成 27 年度末に救急専門医 2 名が退職したが、院内のバックアップ体制の強化等により救急医療提供の維持に努めている。

高度急性期医療については、不整脈の専門医師入職による心疾患医療の充実、「脳神経チーム」を形づくり、脳血管疾患に対応する体制を構築した。がん治療に関しては、がん治療に関するカンファレンスを立ち上げ他科と連携し診療方針を決定する体制を整えた。小児・周産期医療については、地域周産期母子医療センターとしてハイリスク出産や未熟児に対する医療も継続的に実施した。また、診療の充実だけでなく高度化・多様化する医療に対する安全対策を強化するため、インシデント・アクシデント報告や医療安全情報、医療安全管理委員会議事録などの現場へのフィードバックをより確実にするための仕組みを構築し、安全安心な医療の提供に努めた。

情報発信にも積極的に取り組み、ホームページや広報誌などの媒体による情報発信だけでなく、市立図書館や公民館等の健康講座や地域医療講演会、各種イベントを積極的に行った。また、病院の特徴をより広く周知するためメディアを通じた戦略的広報活動も行った。

病院全体で目標達成に取り組むために、平成 27 年度も引き続き人事評価を含めた業務改善制度「Work Editing Service」を実施し、所属ごとの目標を各所属職員の個人評価にも反映させるなど、良質な医療・患者サービスの提供と自主的な業務改善を促進した。

経営面では、診療科別損益計算書や各診療科の収支状況を医師をはじめとした各スタッフに周知、共有し、経営に対する意識向上を図るとともに、平均在院日数の短縮や紹介患者増への取り組み、術前の外来検査の促進、ジェネリック医薬品への切り替え、価格交渉の徹底、委託契約の見直し、省エネの徹底などを行い、収入増と経費削減に努めた。しかしながら、両病院で合わせて 826,007 千円の経常損失で、内訳として市民病院で 530,419 千円、成人病センターで 295,588 千円の経常損失となり、持続可能な経営基盤の確立を重要課題と考え、更なる増収対策と経費削減に努めている。

新病院建設計画においては、平成 28 年 2 月にⅡ期棟が完成し、3 月には成人病センターの市民病院への移転が無事に完了した。しかし、駐車場については建設用地の地中に埋没していた雨水渠の破損により駐車場の完成が 1 年遅延することとなった。

今後も当機構の 4 本柱である救急医療、高度・急性期医療、小児・周産期医療、政策医療を中心に医療機能の充実を図り、患者さんとその家族、職員とその家族、そして地域に信頼され愛される病院となるための努力を続けていく。

## 2 年度計画における大項目ごとの概要

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ○救急医療

看護部の組織体制の見直しにより、救急病棟と救急外来を同一の師長が管理することで救急初療室から入院への連携がスムーズになった。これにより、救急患者の待ち時間短縮や一般病棟の負担軽減にもつながった。また、救急専門医による研修医教育にも力を入れ、救急体制の構築を図った。さらに、救急症例検討会（循環器）等を行政と共催で行うことで、地域医療機関とも救急の現状について共有することができ、連携の強化を図ることができた。

平成27年度末に救急専門医2名が退職したが、院内のバックアップ体制の強化等により救急医療提供の維持に努めている。

#### ○高度・急性期医療

心臓血管内科に不整脈を専門とする医師が入職し、心疾患に対する治療域が拡大した。また、心臓血管外科の医師が2名から3名に増員し体制強化を図った。脳血管疾患については、脳神経内科・外科の医師だけでなく看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー等多職種が参加したカンファランスを定期的に行い「脳神経チーム」の形づくりを行った。

また、がん治療に関しては、がんカンファランスを立ち上げ多科と連携し診療方針を決定する体制を整えた。

#### ○小児・周産期医療

地域周産期母子医療センターとしてハイリスク出産や未熟児に対する医療も継続的に実施した。

また、総合周産期母子医療センター（長崎医療センター）と連携し患者が安心できる医療提供体制を整えた。

#### ○地域の医療機関との連携強化

入院支援センターや病棟看護師など多職種と連携し、退院支援が必要な患者さんに早期介入することができ、患者さんやご家族の退院後の不安感軽減や地域医療機関との連携が強化された。また地域の医療機関を対象に開催した「ざっくばらんにご意見をうかがう会」で電話による問い合わせの際に院内で電話のたらい回しがあるという指摘から、お問い合わせ（紹介・予約等）に対して、紹介電話専用ダイヤルを設置し窓口を一本化したことで、よりスムーズな患者受入れが可能となった。

#### ○安全安心で信頼できる医療の提供

空床状況や入院待ち状況をリアルタイムに把握できるシステムを開発したことにより、予定入院だけでなく緊急入院時のベッド確保が円滑に行えるようになった。また、電子カルテ端末での参照が可能になったことから現場レベルでの把握も可能となり情報の共有化が図られた。また、多職種が参加した病棟カンファを定期的に行い、各スタッフが共通認識の下で、十分なコミュニケーションを図り、互いに連携し補完し合うチーム医療を推進した。また、インシデント・アクシデント報告や医療安全情報、医療安全管理委員会議事録などの現場へのフィードバックをより確実にするための仕組みを構築した。



## ○住民・患者サービス

患者満足度の向上を図るため、ぬくもり委員会を定期的を開催し、退院患者アンケートやご意見箱などに寄せられた意見に対しての改善策を協議し、掲示板などで周知を図った。また、患者、地域住民を対象とした病院祭を開催し、病院スタッフがそれぞれの専門等を活かしたブースを設け病院や病気等について楽しく学び体験する場を提供した。平成 26 年度に更新受審を受けた病院機能評価については、継続的な質改善を行うため認定期間中の検証を行い日本医療機能評価機構に報告した。

## ○適正配置と人材評価

心臓血管内科・外科、脳神経内科・外科の医師の増員や集中治療科専門医師の採用。また、成人病センターとの統合による腎臓内科の新設など医療機能の強化を進めた。また、平成 28 年 7 月からの 100 床稼働に向けての人員体制を整備するための増員をおこなうとともに、7 対 1 看護体制も維持している。

平成 25 年度より人事評価を含めた業務改善制度として導入している「Work Editing Service」の流れは維持しながらも、評価から支給までの手順を見直し、年度内に支給するようしくみを変更した。

## 第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### ○組織体制の充実・連携強化(業務評価の推進、事務部門のレベルアップ)

平成 27 年度も引き続き、人事評価を含めた業務改善制度「Work Editing Service」により、職員の業務改善意識を促進するとともに、院長コミットメント、部門長コミットメントに基づき所属長が目標設定を行うなど、目標達成に対する意識向上を促した。

事務部門のレベルアップとして、管理職経験者、医事経験者、人事経験者、経理経験者など即戦力となる人材を採用した。医事業務に関しては委託していた入院算定業務の一部を病院職員が実施し、職員の業務レベルの向上を図った。

### ○業務の見直しによる収支改善

DPC コーディングやレセプトを診療情報管理士の資格を有する医事係職員がダブルチェックする等適正な診療報酬請求を行う体制を強化したことと、職員 1 人 1 人のレベル向上により算定漏れなどの改善に努めた。また、算定可能な医学管理料のチェックを徹底し、算定漏れの防止につなげることで、医業収益の伸長を図った。

## 第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

### ○持続可能な経営基盤の確立

地域医療機関訪問等による紹介患者増への取組みとともに、術前外来検査の促進やジェネリック医薬品への切り替え、価格交渉の徹底、委託契約の見直し、省エネの徹底などを行い、収入増と経費削減に努めた。

しかしながら、両病院で合わせて 826,007 千円の経常損失で、内訳として市民病院で 530,419 千円、成人病センターで 295,588 千円の経常損失となった。

今後は平成 28 年 7 月に 513 床稼働の全面開院となることから、更に新入院患者増のために広報活動や地域医療機関との連携を強化、また病床稼働率や在院日数を効果的に運用するため、毎日実施しているベッドコントロールの徹底や診療単価の高い高度な手術の件数を増やすなど収益増に対する取り組みを行う。

費用削減については、引き続き診療材料、薬品等の価格交渉による原価率の低減や人件費率の適正化などの取り組みを行い、持続可能な経営基盤の確立を図っていく。

#### **第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置**

##### **○長崎市新市立病院整備運営事業に関する取り組み**

地元業者発注や工事の進捗状況の管理を引き続き徹底し、Ⅱ期棟開院に支障がないよう情報共有など連携を行った。平成 28 年 2 月にⅡ期棟が完成し、3 月には成人病センターからの引越しが無事に完了した。しかし、駐車場については建設用地の地中に埋没していた雨水渠の破損が原因で完成が 1 年遅延することとなった。

### 3 目標値の達成状況

#### (1) 医業活動

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)
救急搬送人数(人)(暦年)	3,127	3,000	3,379	112.6	170	-	128	-
手術件数(件)	2,649	3,000	3,180	106.0	95	200	87	43.5
紹介率(%)	45.8	55.0	51.9	94.4	50.2	-	-	-
逆紹介率(%)	60.3	60.0	73.9	123.2	22.7	-	-	-

※紹介率及び逆紹介率市民病院算定式(目標値は小数点以下切り捨て)

$$\text{紹介率(}\%) = \frac{\text{紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100 \qquad \text{逆紹介率(}\%) = \frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100$$

※成人病センターは地域医療支援病院ではないため、紹介率及び逆紹介率の目標値は定めていない。

#### (2) 住民患者サービス

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)
クリティカルパス種類	159	160	232	145.0	22	25	25	100.0
患者アンケートによる 満足度の向上(%)	98.4	98.0	92.9	94.8	99.2	98.0	97.5	99.5

#### (3) 医師数

項 目	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)
医師数(人)	87	89	96	107.9

※医師数には、研修医は含まない。

※平成26年度実績値は平成27年3月31日現在(内訳:市民78人、成人9人)

※平成27年度実績値は平成28年3月31日現在

※長崎市第四次総合計画による目標値として、平成28年度92人としている。

#### (4) 看護体制(市民病院)

項 目	27年度目標値	27年度実績値
7対1看護体制の確立	7対1看護体制の維持	7対1看護体制維持

(5) 患者動向

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター				
	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)	
入院 (一般病床)	延べ患者数(人)	112,959	118,245	120,492	101.9	14,708	15,006	12,225	81.5
	1人1日当たり 単価(円)	64,442	68,500	66,816	97.5	37,206	39,395	34,976	88.8
	病床稼働率(%) (病床数)	85.0 (364床)	89.0 (364床)	90.4 (364床)	101.6	67.2	85.4 (48床)	70.6 (48床)	82.7
	平均在院日数 (日)	11.0	12.0	11.8	101.7	18.6	18.5	19.0	97.4
外来	延べ患者数(人)	132,980	142,100	128,024	90.1	27,097	28,527	25,825	90.5
	1人1日当たり 単価(円)	13,443	13,200	19,222	145.6	22,334	22,543	23,016	102.1

入院延べ患者数

(注1) 病床稼働率(%) =  $\frac{\text{入院延べ患者数}}{\text{稼働病床数} \times \text{年間入院診療実日数(市民:366日)(成人:361日)}} \times 100$

(注2) 平成26年度の長崎みなとメディカルセンター 市民病院の病床稼働率は、364床で算出している。

(注3) 平成26年度の長崎みなとメディカルセンター 成人病センターの病床稼働率は、4~6月までは96床、7月~3月は48床で算出している。

(注4) 平成27年度の長崎みなとメディカルセンター市民病院の病床稼働率は、364床で算出している。

(注5) 平成27年度の長崎みなとメディカルセンター成人病センターの病床稼働率は、48床で算出している。

(6) 経営指標

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	達成率 (%)
総収支比率(%)	89.8	101.0	95.6	94.7	83.4	88.5	81.2	91.8
経常収支比率(%)	94.8	101.0	95.8	94.9	84.2	88.5	81.9	92.5
医業収支比率(%)	91.3	93.8	91.2	97.2	73.2	78.2	70.4	90.0
給与費比率(%)	57.5	56.9	56.8	100.2	79.4	71.1	87.2	81.5
	55.7	54.2	53.6	101.1	74.5	66.4	79.6	83.4
材料費比率(%)	23.0	22.7	28.1	80.8	23.5	23.8	22.3	106.7
経費比率(%)	16.5	15.5	14.0	110.7	26.6	26.5	25.9	102.3

※ 給与費比率は、上段に退職給付費用を含んだ比率を、下段にそれらを除いた比率を記載している。

【参考】中期計画・年度計画記載の実績値（計画に記載の順序）

1 長崎みなとメディカルセンター 市民病院

指 標		25 年度 実績値	26 年度 実績値	27 年度 実績値	
高度医療	がんに関する相談人数(人)	662	744	691	
	緩和ケア チーム活 動	カンファレンス・回診 (回)	47	47	35
		院内研修 (回)	3	3	3
	がん手術件数(件)	608	586	766	
	急性心筋梗塞手術件数(件)	129	140	130	
	放射線治療件数(件)	4,402	6,131	5,674	
	化学療法件数(件)	1,385	1,652	2,050	
地域医療連携	地域医療講演会開催回数(回)	15	12	12	
	地域医療講演会参加人数(人)	713	698	748	
	医療福祉相談件数(件)	2,775	2,883	2,873	
	開放型病床利用病床率(%)	3.9	0.5	1.0	
	開放型病床への登録医師数(人)	142	143	145	
	あじさいネット年度末累計値（※平成 21 年 11 月からの累計値）				
		登録施設数(施設)	69	86	94
	登録人数(人)	1,582	2,257	2,891	
	紹介数(人)	831	1,193	1,526	
	アクセス件数(件)	15,484	31,403	52,422	
医療安全	医療安全委員会開催回数(回)	12	12	12	
	医療安全研修実施回数(回)	14	20	31	
	薬剤管理指導件数(件)	4,384	4,927	8,796	
対策	感染防止対策委員会開催回数(回)	12	12	12	
	感染防止対策研修の研修実施回数(回)	21	53	44	
災害 拠点	災害訓練の実施回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回	
	長崎DMA T チーム数	2 チーム	1 チーム	1 チーム	
の医療 外国人へ	外国人患者数(人)	入院	4	8	30
		外来	15	29	69
	(参考) 外国人延べ宿泊者数(人) (暦年)	178,560	212,524	338,282	

※外国人延べ宿泊者数・・・長崎市文化観光部「観光統計」より

指 標		25 年度 実績値	26 年度 実績値	27 年度 実績値
情報発信	情報誌発行回数(回)	12	12	12
	患者・家族向け(院内)	7	8	8
	住民・医療機関向け(院外)	5	4	4
	ロビーコンサート等の開催回数(回)	11	3	6
患者サービス	患者サービスに係る委員会の開催回数	12	12	12
	病院機能評価認定(更新)	維持	認定更新	維持
	接遇研修開催回数(回)	7	2	10
	ボランティア登録数(人)	17	15	14
適正配置	看護職員数(2病院合計)	441	511	545
	医療技術員数(2病院合計)	122	142	142
	医師事務作業補助者数(2病院合計)	33	31	37
	初期研修医受入数(2病院合計)	10	13	18
研究	治験実施件数(件)	12	9	10
	製造販売後調査件数(件)	9	15	13
	臨床研究件数(件)	15	30	29
	学会発表件数(件)(暦年)	149	163	268
	論文件数(件)(暦年)	43	44	60
研修	認定看護師資格取得支援人数累計(人)	7	10	12
公開	診療録開示件数(件)	31	30	80
事務部門	事務職員数(正規職員(再任用職員を含む。)数)	43	40	41
	現業職員数(正規職員(再任用職員を含む。)数)	0	0	0

※平成 25 年度、平成 26 年度の適正配置及び事務部門欄における実績値は 3 月 31 日現在の 2 病院の合計数値を記載。平成 27 年度は 3 月 31 日現在の市民病院の実績値

## 2 長崎みなとメディカルセンター 成人病センター

指 標		25 年度 実績値	26 年度 実績値	27 年度 実績値	
医療	開心術件数(件)	0	0	0	
医療安全	医療安全委員会開催回数(回)	12	12	12	
	医療安全研修実施回数(回)	2	2	2	
	薬剤管理指導件数(件)	316	716	519	
対策 感染	感染防止対策委員会開催回数(回)	12	12	12	
	感染防止対策研修の研修実施回数(回)	2	3	2	
結核・感染症医療	感染症患者数 (人)	入院	0	0	
		結核患者数(人)	2,805	3,227	2,427
	入院 1日最大入院患者数	10	19	10	
		1日最大排菌患者数	9	19	7
	透析患者数(人)	入院	3,694	3,370	2,450
外来		11,119	11,465	12,015	
情報発信	情報誌発行回数(回)		13	13	9
	患者・家族向け(院内)		12	12	9
		住民・医療機関向け(院外)	1	1	0
	ロビーコンサート等の開催回数(回)		2	3	2
患者サービス	患者サービス検討委員会開催回数		12	12	11
	接遇研修開催回数(回)		1	1	1
	ボランティア登録数(人)		3	3	0
研究	治験実施件数(件)		1	0	0
	製造販売後調査件数(件)		0	0	0
	臨床研究件数(件)		1	0	0
研修	認定看護師資格取得支援人数累計(人)		1	1	1
公開	診療録開示件数(件)		4	3	9